

若竹

第七十号

奉祝 天皇陛下 御即位三十年



再発足四十五周年 記念式典・祝賀会

愛媛県神道青年会

事務局 〒792-0823

愛媛県新居浜市外山町 7-33

浦渡神社 内

TEL 0897-41-7082

FAX 0897-47-3552

URL <http://www.ehimeshinsei.net/>



愛媛県神道青年会

検索



巻頭言

新年度の御挨拶

愛媛県神道青年会

会長 柳原 永祥



平成の御代三十年の目出度き佳節に、謹んで聖寿の万歳と皇室の弥栄をお慶び申し上げますと共に、各御社頭の御隆昌を心よりお祈り申し上げます。

昨年度は当会再発足四十五周年の節目を迎え、通年事業に加えて、多岐にわたる記念事業も展開することができました。これも常日頃より、会員はもとより先輩諸兄を始め神社庁及び各神社宮司様方の格別なる御理解御協力の賜物と諸事滞りなく遂行できました事、篤く感謝致します。特に記念事業【愛媛の太鼓く映像記録保存く】発行後、県内外から数多くの御礼と書状を承り、反響の大きさに驚いております。当会に入り様々な事業を実行してきましたが、今回

ほどお声がけいただいたのは初めてです。皆様から喜びの声を聴くことができ、有難く感じています。

さて、「神道教化に関する発信と基礎固め」を指針としている今期ですが、二年目となる今年度は「発信」に力を入れていきたいと考えています。近年は必要な情報を他人から取得していくのではなく、情報を常に手元に置いて、内から取り出す時代が始まっているように感じます。内と言いましても頭の中ではなく、手元にある媒体からです。情報発信されているのが前提で、そこから必要なものを選ぶ感覚です。スマートフォン の普及により、その傾向は顕著に表れ、人と話していても、途中から携帯電話の画面を見ながらの会話になった経験をお持ちの方も多いと思います。当会でも時代に対応すべく、ホームページを三年前にリニューアルしました。お蔭様で今年四月に行われた、神道青年全国協議会第七十回定例総会に於いて優秀広報賞を受賞する事ができました。大変嬉しい限りですが、これに満足すること無く、更に内容を充実させていくべく、日々の奉仕に役立つものをダウンロードできるページを追加することが決定しています。青年会事業だけでなく、各神社の神明奉仕に役立てるものを考え、発信して参ります。

情報発信と言いましても様々なものがあり、近頃はニュースを見ますと誰かが謝っているような気がします。問題があれば、犯人探しをして謝罪会見。謝罪会見の後はその応対の良し悪しを、次は第三者委員会

をたてて・・といつまでも粗探しをしますが、他にもっと伝えるべきことはないでしょうか。野党は相も変わらず森友・加計問題、いつまでも過去の話をしても仕方ありません。特に国会では未来の話をすべきです。米朝会談の実現、中国は南シナ海軍事化、日本を取り巻く環境は刻々と変化しています。若竹でも年内中の憲法改正の発議の必要性を訴えてきましたが、なかなか議論が進みません。実現されることを心待ちにしています。

憲法改正という大きな目標は、青年には無理があると考える方もいるかもしれませんが、過去を遡るとそうではありません。本年は明治維新より百五十年を迎えましたが、維新を成し遂げた勤王の獅子達は私達と同年代の方も少なくありません。高杉晋作、吉田松陰、坂本龍馬等は二十代で活躍し三十五歳にもならず、この世を去っています。どんなに時代が変わろうとも、時の流れは皆平等です。何に時間とお金を使い、誰に会うのか。そのことで人生は大きく変わっていきます。祭式や雅楽、神道や時局の知識も年齢と共に勝手に身に付くものはありません。未熟な青年期であるからこそ共に語り合い、共に汗を流しましょう。神社界の松下村塾である青年会への参加をお待ちしています。

みがかずば 玉の光は いでざらむ
人のこのころも かくこそあるらし

昭憲皇太后御歌

祝祭日には国旗を掲げましょう

新年正式参拝 新年研修会・互礼会



【報告者】
愛媛県神道青年会 理事
上浮穴郡 三島神社
宮 司 佐藤 肇国



最高気温 2.7℃ 最低気温 0.6℃
雪が降る中での参拝でした！

去る一月二十四日に毎年恒例となる、新年正式参拝が愛媛県護国神社にて執り行われました。柳原永祥会長を始め以下役員が揃って大前を拝し、日本国の弥栄の感謝の誠を捧げ、益々の国の隆昌と平和を祈念致しました。その後、会場を移し国際ホテル松山にて行われました新年研修会。今回のテーマは「二千年の先まで神社を伝えていくために」私達神職において過疎化、人工減少のため氏神様にお守りいただくための奉仕者、氏子が大変少なくなってきた現在の現状を乗り越えていくことに危機感を持つて、日々ご奉仕をしなければならぬことだと思つて

おります。自由な視点から、神社にお参りをしてもらうためにはどのような方法が考えられるのか、この度、八幡浜元気プロジェクト代表理事の浜田規史先生を講師にお招きし、効果的な情報発信の手段を学ぶと共に、再び神社と人と地域を結ぶためには今何をすべきであるのか。浜田規史先生にお話をいただきました。



先生 規史 先生 昭 58 年 生 出 身
八幡浜市

先生も着任当初の頃は人や地域を動かすのは、非常に大変だったとおっしゃっていました。ただ自らの自己満足で情報発信をするのではなく、相手に対し共感してもらうことが必要であること。情報伝達的手段として、ポスター、チラシ、パンフレット、ホームページ、などそれぞれの特性を生かした発信が効果的であることなど、たくさんのお話をいただくことができました。次に、いくつかのグループに分かれ意見交換を行い、より効果的な参拝啓発活動の方法や、問題点について考えました。先生より「伝えたい情報、伝えたい相手、伝え

方、」この三つのことを主とし、「何を、誰に、どう伝えたいのか。」グループ内にて意見交換をし、実際に各々がお社に持ち帰り実行できるような具体案もあり、大変身になる研修会となりました。

現代の情報発信は、善悪問わず同じ条件で閲覧、発信することができ、誘導ともとれるような情報も多々伺えます。そのため、間違つたとらえ方をしてしまい、犯罪にも繋がっていることが現状とも言えます。神職として、正しいことを真つ直ぐ発信し、相手方よりお参りに行こう。と思つていただけるような情報の整理が必要ではないのかなと思います。新たな知識をいただいた先生に感謝申し上げます。

また研修会終了後に行われました互礼会ではご多忙の中、愛媛県神社庁の柳原宰庁長様を始め、神社庁役員の皆様、青年会OBの先輩方にご出席いただき盛大に執り行われました。

お話をいただきに行くと、先輩方皆様快くお話をしてくださりました。神道青年会として、一神職として先輩方に負けないうよう、ご奉仕して参りたいと思ひます。



簡単なようで難しい！

県内神職と顔を合わせる素敵な時間。
見聞を広める絶好の機会にご参加ください！

平成二十九年度 神道青年全国協議会 中央研修会(長崎)



【報告者】
愛媛県神道青年会 副会長
新居浜市 浦渡神社
榎 宜 矢野 忠臣

平成三十年三月七・八日の日程による、平成二十九年度神道青年全国協議会中央研修会が、主管・神道青年九州地区協議会、担当長崎県神道青年会にて長崎県ハウステンボスを会場として執り行われ、全国各地より約三五〇名が集まり、当会よりは柳原永祥会長・田窪大朗副会長・大岡宜徳副会長・矢野忠臣副会長・善家祐二監事・高岡健会員にて参加いたしました。



第一講は衆議院議員の石破茂先生が『地方創生概観』として、人口減少・少子高齢化問題を踏まえて、神社を中心とした新しい日本づくりが必要であることについてご講義いただきました。



第二講はパネルディスカッションを行い、パネリストに皇學館大学大学院特別教授の櫻井治男先生、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局参事官補佐の柴沼隆太先生、長崎県神社庁副庁長の吉村政徳先生が「集落と神社の今後の可能性」として、政府が提示した人口減少資料を基に日本が迎える未来図やそれに伴う神社の姿。またこれからの神社としての展望についてご講義いただきました。

夕方には来賓の方々を交えて国重要無形民俗文化財「壱岐神楽」の余興の後、懇親会を行い全国各地から集まった青年神職の懇親を深め、ハウステンボスの光の世界を堪能しました。

二日目・第三講は株式会社ジャパネットたかた創設者であり、JリーグV・ファールン長崎の代表取締役社長の高田明先生が「今を生きる」として、自身の経験、また現在行っている体験談のなかに、神社も行政も企



さぞ楽しかった事でしょう!



業も「幸せな世界を作る」という理念は同じである。その中でまずは「伝える」大切さや「伝えたつもり」の怖さ。そして過去や未来ではなく「現在」を見据えることが明日を変える原動力になるとご講義いただき、未来が変わるといふ忘れていた気持ちを思い出させてくれました。

出来ない理由を考えるのではなく、出来る理由を考えて実行に移す。この研修会を通じて神社・神職の基を改めて認識し、現状の問題に向き合わなければならぬ。「人」は人の為に生きて「人」であり、人の気持ちを感じ、神社・神職として出来ることから一歩ずつ進んでいくべきだと再認識させられました。



現代の課題を取り上げた講義を拝聴する貴重な研修会です。

**愛媛県神道青年会
再発足四十五周年
記念式典並びに祝賀会**



【報告者】
愛媛県神道青年会 理事
宇和島市長堀 三島神社
宮 司 越智 基安

当会が昭和四十七年に再発足を果たしてより本年(平成二十九年)は四十五年の節目にあたります。平成二十八年度より周年事業準備委員会を立ち上げて企画・準備を進め、今年度には、再発足四十五周年奉告祭・榊に想ひを込めて・記念米作り・愛媛の太鼓く映像記録保存くといった周年記念事業を実施し、去る三月二十九日(木)にその集大成たる記念式典並びに祝賀会を開催するに至りました。

同日は穏やかな日中で、会場の国際ホテル松山には午後四時の受付開始と共に、ご来賓としてお招き致しました愛媛県神社庁々長柳原宰様をはじめ役員の皆様、当会に関わり深い諸先輩方、そして神道青年全国協議会々長佐野巖様をはじめ、全国各地より各県単体会の会長・会員の皆様にお越しいただきました。

ご来賓控え室には、周年事業・通年事業を紹介するパネルや、記念米作りに用いた道具や関係する品々を展示すると共に、記念事業で製作した愛媛の太鼓DVDの上映やみかんジュースのでる蛇口を用意し、趣向を凝らしたおもてなしに努めました。

そして午後四時半、田窪大朗副会長による開式の辞により式典が始まり、神宮遙拝・国歌斉唱・敬神生活の綱領唱和に続いて、柳原永祥会長が式辞にて、当会四十五年間の歩みを紹介し、合わせて「現状維持は衰退なりの言葉を胸に具体的に行動し、我が国の発展繁栄に結びつく活動を今後とも展開していくことをお誓い申し上げます。」と力強く決意を述べました。更には、矢野忠臣事務局長より記念事業報告がなされ、来賓紹介の後、ご来賓を代表して愛媛県神社庁々長柳原宰様、神道青年全国協議会々長佐野巖様から祝辞を頂戴しました。ご祝辞の中で、

「ス界の尖兵として時局に対応した活動を行う青年会の志を意識させるお話が多くあり、ス界が新たな国難と位置づけられた少子高齢化・人口減少の問題に向けて対応を進める中、現在の会員諸兄は、その志を改めて強くしたと存じます。その後、頂戴した祝電を披露申し上げ、「神道青年の歌」「美はしき山河」を斉唱し、善家祐二監事の先導により謹んで聖寿の萬歳を申し上げます、最後に大岡宜徳副会長が閉会の辞を申し述べ、式典は終了しました。引き続き、会場を式典とはがらりと変わって打ち解けた雰囲気の中で、祝賀会が挙行されました。祝賀会では、柳原永祥会長、愛媛県神社庁顧問長曾我部延昭様から祝辞を頂戴し、ご出席いただいた歴代会長の皆様揃っての鏡開き、愛媛県神社庁顧問長十亀興美様の発声で乾杯し再発足四十五周年を祝いました。



ご来賓 控室の様子です。



感謝を述べ、笑いも取りました！

「神道青年の歌」「美はしき山河」を斉唱し、善家祐二監事の先導により謹んで聖寿の萬歳を申し上げます、最後に大岡宜徳副会長が閉会の辞を申し述べ、式典は終了しました。引き続き、会場を式典とはがらりと変わって打ち解けた雰囲気の中で、祝賀会が挙行されました。祝賀会では、柳原永祥会長、愛媛県神社庁顧問長曾我部延昭様から祝辞を頂戴し、ご出席いただいた歴代会長の皆様揃っての鏡開き、愛媛県神社庁顧問長十亀興美様の発声で乾杯し再発足四十五周年を祝いました。



気持ちを込めた聖寿の萬歳でした！

全国から大勢の皆様にご花を添えていただきました！



とても和やかな時間でした。

発足五十周年は元より、その先々までその想いが守り伝えられ、愛媛県神道青年会が益々発展してまいりますよう祈念し、報告と致します。

生様の手締めで祝賀会は無事終了しました。今回、再発足四十五周年の佳節に立ち会えた会の想い、又諸活動の実績を再認識できましたこと幸甚に存じます。今後、再



蛇口からのみかんジュースは、皆様にとっても好評でした。



「よいしょ」の掛け声で鏡開き！

会場には松山の地酒「仁喜多津く神泉」をはじめ、宇和島サーモンを使った刺身にぎり鮎など県産品を用意し、会員やご来賓でにぎやかな交歓が行われた後、愛媛県神社庁副庁長三輪田泰

愛媛県神道青年会
再発足四十五周年を迎えて

第十五代会長 十亀 雅史



愛媛県神道青年会再発足四十五周年、誠に
おめでとうございました。

私の会長期が終わる翌年が周年を迎えるにあたり、周年準備委員会を立ち上げ、前柳原副会長を委員長として各種記念事業について委員会を開催したことが昨日のことのように思い出されます。

特に、選ばれた委員の顔ぶれは新任者が多く、委員会が発言すること、会の進め方など全てが初めてで、一年の準備委員会で翌年の記念事業を決議し、実行できるのか心配するところもありました。しかしながら、月々集まり話し合いを重ねる中で進むべき道が定まり、一体となって頑張っていることとすることが高まってきたことを感じることができました。

そして、昨年度は見事に周年記念事業を完遂され、その事業の中には学芸奨励金を受ける活動と認められたものもあります。すべて素晴らしい記念事業でありました。執行部また会員の皆さんお疲れ様でございました。

今より四十五年前に先輩方が再発足の道を作ってくださり、再発足後もその想いが今に受け継がれてきています。若竹を第一号から読み返してみますと、通年事業だけではなく、各地区が主導して勉強会を行い、時局に対しても様々な活動を行っておられます。その先輩方に今も支えられていることを忘れず、その道を踏み間違えることなくこれからも進み続けてもらいたいと思います。そして、愛媛県だけではなく他の都道府県の神青の同志がどのような活動をしているか、参加できるときには視野を広く持つて勉強し、そして更なる会の発展の為に力を尽くしていただきたいと思います。

(卒会した身ではありませんが、周年を迎えて一言と依頼がありましたので、私が見て感じたことを寄稿させていただきました。)



神道青年全国協議会

第七十回定例総会

祈願碑研修会

祝！優秀広報賞 受賞！！



【報告者】
愛媛県神道青年会 監事
西予市 龍王神社
権欄宜 善家 祐二

去る四月二十六日、本社本庁大講堂に於いて、神道青年全国協議会定例総会が開催されました。

総会では、佐野巖会長、吉川通泰神社本庁副総長の挨拶後、定例表彰式があり、当会のホームページが優秀広報賞を受賞しました。授賞理由は、過去発行の会報誌「若竹」を始め、再発

足四十周年事業として作成された調査誌「愛媛の神々」などをデタ化し掲載して、後進育成と神道教化に資すると称えていただき



表彰状

優秀広報賞

愛媛県神道青年会
会報「若竹」は、過去発行の会報誌と異なり、再発足四十周年事業として作成された調査誌「愛媛の神々」などをデータ化し掲載して、後進育成と神道教化に資すると称えていただき、

平成三十年七月一日

神道青年全国協議会

会長 佐野 巖

ました。今年度は、「愛媛の太鼓」を提出して最優秀賞を獲得することを決意した瞬間でもありました。

祈願碑研修会では、波照間の碑と国旗掲揚塔の碑と聖寿奉祝の碑と北方領土の碑と竹島の碑の祈願碑建立に際する先輩諸兄の様々な苦難の経緯や碑に込められた切なる想いを再認識する素晴らしい研修でした。

総会後は、明治記念館に於いて、菊波の友垣会が開催され、顧問・OBを始め、役員・委員・代議員が集いて懇親を深める場が設けられ、お酒を酌み交わしながら語り合い有意義な時間を過ごしました。



佐野 巖 会長と一緒に！

第四十七回 定時総会

【報告者】



愛媛県神道青年会 理事
松山市 伊豫豆比古命神社
権欄宜 小笠原 義直

去る五月十八日、国際ホテル松山にて、平成三十年度第四十七回定時総会が行われました。

午後二時より、本館二階パールの間に於

いて役員会が行われ、二時間に渡る慎重審議のもと無事閉会されました。
午後五時より、本館二階離宮の間にて定時総会を開催。柳原会長以下十九名の参加でした。

議事では、平成二十九年度の決算報告。平成三十年度の活動報告及び予算案。再発足四十五周年記念事業の活動及び決算報告について討議なされ、参加会員一同の賛同を得て議決され、総会は厳



昨年の再発足45周年の感謝と、新年度を迎えて抱負を述べました。

粛且つ円滑に進められ閉会となりました。
午後六時三十分より、同離宮の間において懇親会が行われ、柳原庁長様を始め五名の御来賓の方々に御参加いただき、より一層の親睦を深めました。

結びに、総会にて昨年度の決算報告がなされた事により、再発足四十五周年の事業は全て執り納められた事となります。此度の総会は、例年に比べ参加者が減少しているのが垣間見え、この現状を打破すべく、会員数を増やす為の方策を考え話し合いを行い、通年事業と併せて問題の改善に努めてまいります。



定時総会に出席して



【報告者】

愛媛県神道青年会 新会員
伊予市中山町 三島神社
権欄宜 阿部 玲子

本年度から愛媛県神道青年会に入会させて
いただき、初めての参加でありました。
恥ずかしながら、神道青年会に関しては知
らないことも多く、年間の活動予定ひとつ
を取りましても、実に様々な活動をされて
いると知り、驚かされるばかりでした。役
員の方々や会員の皆さんが、これからの神
社や神道の為に積極的に考え行動する姿
に、胸が熱くなりました。

また、その後の懇親会にも出席させてい
ただきましたが、新会員の私にも別け隔て
なく、皆さん親切に接して下さいまして、
あまり緊張せずに和やかに時を過ごすこと
ができました。ありがとうございました。
これからも神職同士の交流や意見交換の場
として、大切に活用させていただきたく思
いますので、何卒よろしくお願いいたしま
す。

広島県青年神職会交流会 於 広島県呉市



【報告者】

愛媛県神道青年会 理事
西条市 石鎚神社
権欄宜 湊 和樹

平成三十年
六月十三日、
広島県青年神
職会の主催に
よりまして、
交流会が行わ
れました。当
会からは会長
以下五名の参
加となりました。



梅雨入りしたと思えない
好天気に恵まれました！

先ず呉市清水に鎮座します、旧呉市の
総氏神・亀山神社にて正式参拝を行い、
三十二代目宮司太刀掛祐之様より境内をご
案内いただきました。
今回三年振りとなる交流先は、海上自衛
隊呉地方総監部の見学でした。亀山神社よ
り移動する際に、(株)大之木ダイモ代表取締役
社長大之木小兵衛様の先導をいただき向
かいました。

現地に着くと、第四十三代呉地方総監
海将池太郎様よりご挨拶をいただき、広報
係長三等海佐小林司様の先導の下、構内を
案内していただきました。その中で「海軍
兵学精神は、戦後、海上自衛隊幹部候補生
学校に有形、無形の伝統として引き継がれ、
連綿と息づいています。」のお言葉を伺い
「伝統の継承」の大切さを再確認いたしま
した。

次に、「二代目護衛艦『さみだれ』へ向かい、
艦長二等海佐斎藤夕祈雄様の先導の下、艦
内を案内していただきました。これまでに
二度のインド洋派遣、三度の海賊対処行動
に従事した他、多数の海外派遣訓練に参加
し、日本を取り巻く安全保障環境の変化と
厳しさを、肌で感じつつ行動されているそ
うです。

艦内には神棚と、各部屋には「天照皇太
神宮」「亀山神社」の大麻が奉られており、
神棚の御前で、奥会長と柳原会長の先導の
下、全員で拝礼いたしました。

夕方からネクタイを外し、時間の許す限
り懇親を深め、充実した一日を修めました。

十二月五日

中国五県青年神職会
神道青年四国地区協議会合同会

「災害対策研修会」南海地震に備えて」
【場所】国際ホテル松山

8月は夏期セミナー。9月は神道行法錬成会、観月神楽の夕べ。
安心してください！大安は外してますよ！！(笑)

趣味人 第八回

〜神青会員のオフタイム〜

今治市 綱敷天満神社
宮 司 菅 利之さん

神青会員の多彩な趣味を紹介するこのコーナー。今回紹介する菅利之さんは、幼い頃から本が好きで、大学時代には一日に四、五冊読む事もあったそうです。

本の選び方、電子書籍、そして売却(笑)などどんな話が伺えたのか!

―購入や読み方はありますか?―

お祭りの準備がある前に、読んでた本を売って、新たに本を購入して、お祭りが終わったら本を読んで、次のお祭りの前に売るのが輪番になっています。しかし、面白い本だと夜を徹して読んでしまったりまするので、十冊から二十冊くらい買っておいても、次のお祭りまでもたなくて、本を売って、また新たに購入します。

―え、売っちゃうんですか?―

買う量が多いので本棚の隙間が無いんですよ。なので「これは置いておきたい」と思う物以外は売ります。しかし周期毎に入れ替わり、置いてある本の中でも、もう読み込んだから納得して手放す物もあります。



お気に入りの書店包装紙は「紀伊國屋書店」だそうです。

―好きな分類はありますか?―

フィクションが好きで、以前は長編が読みたくなくて、ファンタジーが続く事もあったのですが、現在は推理小説や心情を描いた一冊の読み切り作品を選んで、社務に差支えがない様になっています(笑)

―大体の漢字は読めますか?―

難読漢字が読めるかと言われるたら別で、本によく出てくる漢字とか。例えば京極夏彦さんの「魍魎の匣」という本があり、

「魍魎」が読めるんですけど…書いたら間違いかもかもしれませんが(笑)

幼い頃から読めない言葉は、前後の文章で予測して読んでいたので、それで読めるようになった漢字は結構あります。後で合っているのか辞書で引いたりしていました。

―電子書籍は読みますか?―

読みますが、電子書籍だと題名が羅列していないので、選ぶのが難しいんです。なぜなら題名を絞らないと見つからないので。私は作家で選んでいないので、色々な作家の面白い本が読みたいので、絞れないんです。

紙媒体だと背表紙を見て手に取って購入できるので、ネット注文は苦手です。

でも電子書籍が嫌いな訳ではなく、人気があるなしに関わらず、どうしても読みたい本が本屋では取り寄せになる場合、明日には読みたいから電子書籍で買う(笑)そんな感じです。

青年会の行事に参加しておりますので、本が好きな方は声をかけてください。

《取材 湊 和樹》

平成二十九年 会務報告

平成二十九年

四月 十日	平成二十八年度会計監査会 (十亀会長以下五名出席)	起 平成二十九年 四月 一日 至 平成三十年 三月三十一日
四月 二十日	第一回 役員会 (柳原会長以下十四名出席)	【松山市・東雲神社】
四月 二十六日	神道青年全国協議会 第六十九回定時総会 (柳原会長以下三名出席)	【本社本庁】
全	菊波の友垣会 (柳原会長以下三名出席)	【明治記念館】
五月 三十日	再発足四十五周年奉告祭齋行 《柳原厅长以下九名御参列》 再発足四十五周年事業「神に想ひをこめて」 第二回 役員会 (柳原会長以下十六名出席)	【愛媛県神社庁】 【全】
六月 四日	再発足四十五周年事業「神に想ひをこめて」 第四十六回定時総会 (柳原会長以下二十名出席)	【全】
六月 四日	懇親会 (柳原会長以下十九名出席)	【松山市・たにた】
六月 四日	神道青年四国地区協議会第一回役員会 【徳島県ワシントンホテルプラザ】	
六月 八日	第三回役員会 (柳原会長以下十二名出席)	【西予市・三島神社】
六月 十二日	日本会議愛媛県本部 平成二十九年定時総会 (柳原会長出席)	【国際ホテル松山】
六月 十四日	天皇皇后両陛下愛媛県奉迎委員会設立総会 (柳原会長出席)	【全】
六月 十四日	再発足四十五周年事業「記念米作り・御田植祭」 《柳原厅长以下十名御参列》	【松前町北川原】
六月 二十日	愛媛県神社庁 定例協議員会 (柳原会長出席)	【愛媛県神社庁】

七月 二十六日	再発足四十五周年事業「記念米作り・除草作業」 (柳原会長以下六名参加)	【松前町北川原】
七月 二十八日	伊豫豆比古命神社宮司・名誉宮司就任を祝う会 (柳原会長出席)	【松山全日空ホテル】
七月 三十一日	会報「若竹」第六十八号「発行」 愛媛県女子神職会 総会 (大岡副会長代理出席)	【愛媛県神社庁】
七月 十三日	神政連県本部代議員会 (柳原会長出席)	【国際ホテル松山】
七月 二十六日	再発足四十五周年事業「記念米作り・除草作業」 (柳原会長以下八名参加)	【松前町北川原】
七月 二十六日	第四回役員会 (柳原会長以下十四名出席)	【伊豫豆比古命神社】
七月 二十四日	再発足四十五周年事業「愛媛の太鼓」収録 (柳原会長以下四名参加)	【愛媛県神社庁】
七月 十四日	再発足四十五周年事業「愛媛の太鼓」収録 (柳原会長以下五名参加)	【愛媛県神社庁】
七月 十七日	神道青年四国地区協議会 第二十三回定例総会 (柳原会長以下四名出席)	【高知県 得月楼】
七月 十七日	【研修会】 【自由民権と憲法改正】 【第一講】「憲法改正への道」 講師 中西 哲 先生 桑名 龍吾 先生	
七月 二十五日	【第二講】「人間・板垣退助」 講師 谷 是 先生	
七月 二十五日	再発足四十五周年事業「記念米作り・除草作業」 (柳原会長以下七名参加)	【松前町北川原】
七月 二十八日	第五回 役員会 (柳原会長以下十六名出席)	【新居浜市・白山神社】
七月 二十九日	神道政治連盟愛媛県本部講演会 (大岡副会長以下四名出席)	【伊豫豆比古命神社】
七月 四日	第二十回神道行法録成会 (柳原会長以下九名出席)	【八幡浜市・八幡神社】
七月 五日	神道青年四国地区協議会 第二回 役員会 (柳原会長以下三名出席)	【八幡浜センチュリーホテル】
七月 二十日	再発足四十五周年事業「記念米作り・抜穂祭」 (柳原会長以下十六名出席)	【松前町北川原】

会員各位には昨年度も各事業に御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

全	参拝啓発ポスター発送作業 (柳原会長以下十五名出席) 第六回役員会 (柳原会長以下十五名出席) 第三十五回観月神楽 (柳原会長以下十七名出席) 中四国合同研修会 (柳原会長以下二名出席) 天皇皇后両陛下奉迎大提灯パレード (柳原会長以下十名参加) 第七回 役員会 (柳原会長以下八名出席) 愛媛県神社庁 第二回定例協議委員会 (柳原会長出席) 第十六回神道政治連盟時局対策連絡会議 (柳原会長以下一名出席) 三島森田両烈士追悼四十七周年慰霊祭 (柳原会長以下十名奉仕) 第八回 役員会 (柳原会長以下十一名出席) 神道青年四国地区協議会 第二回 役員会 (柳原会長以下二名出席) 親睦ボウリング大会 (柳原会長以下二名出席) 天皇皇后両陛下奉迎委員会・建国記念の日奉祝実行委員会 日本会議愛媛県本部 合同運営委員会 (善家監事代理出席) 建国記念の日奉祝愛媛県実行委員会 平成二十九年度総会 (柳原会長出席) 北朝鮮拉致被害者救出パレード (柳原会長以下四名出席)	【松山市・湯神社】 【全】 【松山市・日尾八幡神社】 【山口県・遠石八幡宮】 【松山市】 【宇和島市・三島神社】 【愛媛県神社庁】 【自由民主党本部】 【愛媛県神社庁】 【愛媛県神社庁】 【松山市・厳島神社】 【サンポート高松】 【シーサイドポウル高松】 【伊豫豆比古命神社】 【国際ホテル松山】 【坊ちゃん広場】 【国際ホテル松山】
全	新年研修会 演題「二千年の先まで神社を伝えていくために」 講師 八幡浜元氣プロジェクト代表理事 浜田 規史 先生 《森理事以下御来賓二名御出席》 (柳原会長以下十八名出席) 新年五礼会 《三輪田副庁長以下御来賓七名御出席》 (柳原会長以下二十二名出席) 第十回 役員会 (柳原会長以下十二名出席) 神道青年全国協議会 中央研修会 (柳原会長以下十二名出席) 《地方創生・消滅可能性集落と神社の爾今を考へる》 【長崎県・ハウステンボス】 講師 石破 茂 先生 《第一講》「地方創生概観」 講師 櫻井 治男 先生 《第二講》「集落と神社の今後の可能性」 講師 芝沼 隆太 先生 吉村 政徳 先生 《第三講》「今を生きる」 講師 高田 明 先生 (柳原会長以下六名出席) 第十一回役員会 (柳原会長以下十一名出席) 再発足四十五周年記念式典・祝賀会 《柳原庁長以下来賓三十一名御出席》 《佐野神青協会長以下来賓三十八名御出席》 (柳原会長以下二十二名出席) 一般会計監査 (柳原会長以下七名出席) 特別会計監査会 (柳原会長以下五名出席)	【全】 【伊豫の間】 【今治市・吹揚神社】 【全】 【国際ホテル松山】 【全】 【国際ホテル松山】 【松山市・厳島神社】 【松山市・厳島神社】 【松山市・厳島神社】

全	一月 一日 会報「若竹・第六十九号」発刊 年頭正式参拝 (柳原会長以下十名参拝) 第九回 役員会 (柳原会長以下十二名出席)	【愛媛県護国神社】 【国際ホテル松山】
全	二月 二十四日 平成一三〇年 一月 二十四日 全	【愛媛県護国神社】 【国際ホテル松山】

皆様方に御協力を賜り会務が遂行出来ましたことに深謝致します

会長 柳原 永祥

愛媛県神道青年会 平成29年度一般会計歳入歳出決算書

自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日

歳入の部 単位：円

項目	本年度予算額	本年度決算額	増減(△減)	付記
1 会費	700,000	537,000	△ 163,000	年会費・定時総会々費・新年互礼会々費
2 助成金	200,000	200,000	0	愛媛県神社庁より
3 寄付金	1,350,000	1,705,000	355,000	県内支部・神社・神職寄付金
4 雑収入	1,568	20,000	18,432	周年事業「記念米作り」祝い金
5 繰越金	748,432	748,432	0	平成28年度より
歳入合計	3,000,000	3,210,432	210,432	

歳出の部 単位：円

項目	本年度予算額	本年度決算額	増減(△減)	付記
1 会議費	670,000	297,624	△ 372,376	定時総会・役員会・新年互礼会・地区協役員会・監査会他
2 研修教化	800,000	441,405	△ 358,595	観月神楽・慰問神楽・新年研修会・各種研修参加助成他
3 事業費	200,000	104,760	△ 95,240	参拝啓発ポスター頒布事業
4 広報費	370,000	304,537	△ 65,463	若竹68号/69号作製費及び発送費・HP管理費
5 事務費	150,000	106,854	△ 43,146	事務用品・寄付金其他振替手数料
6 備品費	10,000	0	△ 10,000	
7 旅費	330,000	370,000	40,000	神青協定例総会・神青協出向役員旅費補助
8 慶弔費	80,000	56,404	△ 23,596	慶弔金・電報代
9 分担費	300,000	268,000	△ 32,000	神青協及び地区協醸出金・各種友好団体年会費
10 交通費	50,000	50,000	0	会長手当
11 雑支出	10,000	420,000	410,000	特別会計へ400,000・周年事業「記念米作り」へ20,000
12 予備費	30,000	0	△ 30,000	
歳出合計	3,000,000	2,419,584	△ 580,416	

歳入合計 ￥3,210,432 歳出合計 ￥2,419,584 差引残高 ￥790,848

愛媛県神道青年会役員会 会長 柳原永祥 提出

平成30年4月17日

愛媛県神道青年会 平成30年度一般会計歳入歳出予算書

自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日

歳入の部 単位：円

項目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△減)	付記
1 会費	700,000	659,000	△ 41,000	年会費・定時総会々費・新年互礼会々費
2 助成金	200,000	200,000	0	愛媛県神社庁より
3 寄付金	1,350,000	1,350,000	0	県内支部・神社・神職寄付金
4 雑収入	1,568	152	△ 1,416	預金利息他
5 繰越金	748,432	790,848	42,416	平成29年度より
歳入合計	3,000,000	3,000,000	0	

歳出の部 単位：円

項目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△減)	付記
1 会議費	670,000	600,000	△ 70,000	定時総会・臨時総会・役員会・新年互礼会・地区協役員会・監査会他
2 研修教化	800,000	670,000	△ 130,000	観月神楽・慰問神楽・新年研修会・各種研修参加助成他
3 事業費	200,000	200,000	0	参拝啓発ポスター頒布事業
4 広報費	370,000	370,000	0	若竹70号/71号作製費及び発送費・HP管理費
5 事務費	150,000	150,000	0	事務用品・寄付金其他振替手数料
6 備品費	10,000	10,000	0	
7 旅費	330,000	550,000	220,000	神青協交通費補助(定例総会・臨時総会・出向役員)
8 慶弔費	80,000	80,000	0	慶弔費・電報代
9 分担費	300,000	300,000	0	神青協及び地区協醸出金・各種友好団体年会費
10 交通費	50,000	50,000	0	会長手当
11 雑支出	10,000	10,000	0	
12 予備費	30,000	10,000	△ 20,000	
歳出合計	3,000,000	3,000,000	0	

歳入合計 ￥3,000,000 歳出合計 ￥3,000,000 差引残高 ￥0

愛媛県神道青年会役員会 提出

平成30年4月17日

再発足45周年 記念事業は、寄付を募らず完遂いたしました！
皆様のご協力に感謝を申し上げます。ありがとうございました！！

平成三十年度 活動計画

四月	十七日	平成二十九年年度一般会計監査会	【松山市・巖島神社】
	二十五日	第一回 役員会	【上浮穴郡・三島神社】
	二十六日	神道青年全国協議会 第七十回定例総会	【本社本庁】
	全	菊波の友垣会	【明治記念館】
五月	十一日	平成二十九年年度特別会計監査会	【松山市・巖島神社】
	十八日	第二回 役員会	【国際ホテル松山】
		第四十七回定時総会	【全】
	二十三日	神道青年全国協議会創立七十周年記念事業	
	二十四日	北方領土早期復帰祈願祭	【北海道根室市納沙布】
六月	六日	神道青年四国地区協議会 第一回 役員会・顧問会	【高知県】
	十三日	広島県青年神職会交流会	【広島県呉市】
	二十一日	慰問神楽	【野村小学校】
	二十六日	第三回 役員会	【今治市・吹揚神社】
七月	一日	会報「若竹・第七十号」発刊	
	三日～四日	神宮神道青年会合同研修会	【愛媛県内】
八月	六日	神道青年四国地区協議会 総会並びに研修会	【高松国際ホテル】
	七日	神道青年全国協議会	
	二十九日	平成三十年度 夏期セミナー	【本社本庁】
	三十日	第四回 役員会	【南予】
九月	四日	神道青年四国地区協議会 第二十一回神道行法錬成会	【徳島県】

	五日	神道青年四国地区協議会 第二回 役員会	【全】
	二十三日	第三十六回観月神楽の夕べ	【宇和島市長堀・三島神社】
		参拝啓発ポスター発送作業	
		第五回 役員会	【中予】
	十月	第六回 役員会	【南予】
	十一月二十五日	三島森田両烈士追悼慰霊祭	【愛媛縣護國神社】
		第七回 役員会	【東予】
	十二月	第五回 中国五県青年神職協議会 神道青年四国地区協議会合同会 災害対策研修会	
	五日	第三回 役員会	【国際ホテル松山】
一月	一日	会報「若竹・第七十一号」発刊	
		第八回 役員会	【国際ホテル松山】
		新年研修会・新年互礼会	【全】
二月		第九回 役員会	
三月	十三日	神道青年全国協議会 第十回 役員会	
	十四日	平成三十年度 中央研修会	【茨城県水戸市】
		*（日時未定）	
		臨時総会	
		会員親睦研修会・交流会	
		研修旅行	
		*時局問題への即応	

●その他、日程等は役員会にて議案審議

今期の役員は締めめの1年になります。今年も全力で活動いたします！

平成二十九年 助成寄付御芳名

※順不同にて掲載させて頂いております

御助成

金 貳拾萬圓也

愛媛県神社庁 殿

御寄付

【東予】

金 壹拾萬圓也

石鎚神社

武智 正人 殿

金 伍萬圓也

吹揚神社

大山祇神社 殿

金 參萬圓也

神社庁

新居 支部 殿

弓削神社

川原 啓三郎 殿

田窪 久 殿

金 貳萬圓也

大島八幡神社

矢野 秀綱 殿

堀江神社

合田 千里 殿

金 壹萬伍仟圓也

今宮神社

佐藤 学 殿

石岡神社

越智 基晃 殿

金 壹萬圓也

熊野神社

田邊 捷 殿

橋新宮神社

高橋 佳幹 殿

玉生八幡神社

平田 彰 殿

嘉母神社

石川 雅司郎 殿

荒木八幡大神

松本 恒夫 殿

高尾神社

玉井 忠素 殿

三嶋神社

越智 静治 殿

村山神社

榊田 嘉津雄 殿

周敷神社

井上 初美 殿

大西神社

及川 徹也 殿

網敷天満神社

菅 利之 殿

三嶋神社

堀川 泰規 殿

三島神社

大西 元宣 殿

須賀神社

藤原 豁博 殿

別宮大山祇神社

高田 康成 殿

高浜八幡神社

龜山 和磨 殿

原八幡大神社

矢野 敬陽 殿

大浜八幡大神社

桧垣 壮次 殿

綾延神社

森 正康 殿

大井八幡大神社

櫛部 浄文 殿

八幡神社

福田 友徳 殿

潮早神社

浅海 宜英 殿

多伎神社

沼崎 守文 殿

姫坂神社

沼崎 守文 殿

矢矧神社

田窪 吉典 殿

白山神社

大岡 忠臣 殿

萩岡神社

大岡 忠徳 殿

喜多浦八幡大神社

馬越 祥穂 殿

千足神社

馬越 祥穂 殿

金 伍仟圓也

徳威神社

桐野 正信 殿

橋八幡大神社

馬越 將文 殿

土居神社

矢野 耕一郎 殿

奈良原神社

竹之内 紀久江 殿

保内八幡神社

中島 佳代子 殿

金生八幡宮

合田 正士 殿

碓掛天満宮

小池 清史 殿

濱上神社

赤尾 和則 殿

八雲神社

近藤 純夫 殿

金 參仟圓也

八幡神社

竹内 啓 殿

鶴岡八幡神社

矢野 徳光 殿

周敷神社藤原神社合殿

宮田 正秀 殿

いつも青年会活動に御理解いただき、過分なる御厚意を頂戴いたしましたこと、重ねて厚く御礼申し上げます。役員一同

【中予】

金: 壹拾萬圓也

伊豫豆比古命神社

長曾我部昭一郎 殿

金: 伍萬圓也

愛媛縣護國神社

額田 照彦 殿

金: 參萬圓也

神社庁

松山 支部 殿

金: 貳萬八仟圓也

神社庁

伊予 支部 殿

金: 貳萬圓也

嚴島神社

柳原 宰 殿

金: 壹萬圓也

神社庁

久万 支部 殿

伊豫稻荷神社

星野 暢廣 殿

三嶋大明神社

大内 正人 殿

桑原八幡神社

石丸 剛司 殿

還熊八幡神社

玉井 次明 殿

忽那島八幡宮

大宮 信篤 殿

波賀部神社

武智 彰宏 殿

日尾八幡神社

三輪田 純 殿

生石八幡神社

中西 祐司 殿

高繩神社

正岡 重則 殿

國津比古命神社

井上 忠史 殿

雄郡神社

高市 誠司 殿

伊曾能神社

武市 盛幸 殿

伊佐爾波神社

野口 光比古 殿

廣田神社

武智 盛明 殿

正八幡神社

重松 讓 殿

八坂神社

都築 芳憲 殿

八幡神社

小野 哲也 殿

立石神社

都築 芳憲 殿

三島神社

高市 誠 殿

新田神社

都築 芳憲 殿

勝岡八幡神社

武智 輝子 殿

新田八幡神社

都築 芳憲 殿

金刀比羅神社

大谷 伸二 殿

櫛玉比賣命神社

井上 貞人 殿

客王神社

二神 良昌 殿

諸山積神社

武智 佳子 殿

湊三嶋大明神社

渡部 定詔 殿

高家八幡神社

都子野 清明 殿

高忍日賣神社

後藤 正宜 殿

八幡神社

桑原 浅雄 殿

東雲神社

田内 逸知 殿

五柱神社

森 東洋司 殿

金: 八仟圓也

井手神社

横田 貞子 殿

三嶋神社

岡山 正文 殿

金: 七仟圓也

三島神社

宮田 正秀 殿

三島神社

芥川 幹 殿

金: 伍仟圓也

神社庁

東温 支部 殿

三島神社

武智 仁志 殿

天満神社

武智 成保 殿

天満神社

辻田 正明 殿

徳威三嶋宮

別府 頼房 殿

三島神社

新藤 昭重 殿

金刀比羅神社

山下 幸志 殿

金: 貳仟圓也

正八幡神社

権名津 卓久 殿

三島神社

阿部 洋 殿

三島神社

高市 俊次 殿

阿沼美神社

大内 將通 殿

愛媛神青の活動と異なりますが「神仏会 - 神主と僧侶の交流会 -」があり、特別ゲストをお招きする事もあります。講義・交流会で縁を深めませんか♪

【南予】

金: 七萬圓也	和靈神社	三輪田泰生 殿
金: 參萬圓也	神社庁	宇和支部 殿
金: 貳萬伍仟圓也	神社庁	宇和島支部 殿
金: 壹萬圓也	八幡神社	八西支部八幡浜分会 殿
	八幡神社	清家 貞宏 殿
	八幡神社	常磐井守興 殿
	法花津三島神社	殿
金: 壹萬圓也	三嶋神社	和氣 利雄 殿
	八幡神社	阿部 康茂 殿
	神社庁	南宇和郡支部 殿
	三島神社	一宮 康人 殿
	八幡神社	是沢美久雄 殿
	龍王神社	今城 速人 殿
	三島神社	吉田 充邦 殿
	八幡神社	常磐井守道 殿
	三柱神社	梅川 俊一 殿
	黄幡神社	青木 武司 殿

	宇和海地区神社	宮本 勝弘 殿
	総社大名神社	森本 隆夫 殿
金: 八仟圓也	太郎大明神社	佐々木文雄 殿
金: 伍仟圓也	宇都宮神社	伊達 享朝 殿
	春日神社	宮田 昭 殿
	賀茂神社	上甲 一則 殿
	明間神社	梅原 康孝 殿
	天満神社	宮本 稚秋 殿
	三島神社	三瀬 高德 殿
	岡森神社	寺谷 秀彦 殿
	岡森神社	田中 良治 殿
金: 參仟圓也	湯嶋天神社	菊池 國興 殿
金: 貳仟圓也	三島神社	横山 和郎 殿

三島森田両烈士追悼慰霊祭玉串料

金: 壹萬圓也	神道政治連盟愛媛県本部	殿
	日本会議愛媛県支部代表幹事	越智 敏雄 殿

新年互礼会 御祝

金: 貳仟圓也	愛媛県議会議員	森高 康行 殿
金: 壹仟圓也	青井美智子 殿	
金: 壹萬圓也	和靈神社	愛媛県神社庁 殿
	伊豫豆比古命神社	三輪田泰生 殿
	綾延神社	長曾我部昭一郎 殿
	高忍日賣神社	森 正康 殿
	周敷神社	後藤 正宜 殿
	朝日八幡神社	井上 初美 殿
	櫛玉比賣命神社	田内 一弘 殿
	客王神社	井上 貞人 殿
金: 伍仟圓也	愛媛県女子神職会	二神 良昌 殿
	御賛同の上御寄付を賜り深謝致します	會長 柳原 永祥

(神職あるある?) ・私服なのに物を取る時に袂を上げる仕草をする。
 ・神職と気付かれない様に御宮へ参拝する。

それ行け！二足のわらじ

兼職会員インタビュー



File.08

西予市 野坂神社
宮司 進藤 雄作さん
職種 消防団、水道業

―神職になったきっかけは？

幼い頃より爺さんから跡継ぎの話を言われていまして、理由は「後継者不在」という納得のいく話でした。

直階の研修を受けに行く事が決まっていたので、高校を卒業した年は直ぐ就職せずに、山口県神社庁で階位を取りに行く事を優先して行動していました。その後は直ぐ神職として活動せずに、色々な仕事をして経験を積みました。
―消防団への入団は自主的ですか？

地元の為に、地元にいる若手の大半が入団するので、半強制的と思いますが、私は進んで入団しました。神職として地域の安寧と発展を祈



り、消防団として地区民の生命と財産を守る。そんな人になりたいです。
―水道業を選んだのは？

以前の仕事は土日が休めれなくて、宮司になってから、本格的に神前奉仕をしなればならないと決意をし、融通が利く今の水道業へ進みました。

御宮の行事は土日が多く、昔は三大祭(祈年祭・秋季例大祭・新嘗祭)の由来がある旧暦で執り行われていましたが、現在は旧暦に近い土曜日に斎行しています。
―足は「水に共通しますね(笑)」

消防と水道って近い所があるんですけど、全く違うんですよ。消防の水は火を消す為に使われ、水道の水は生活をする為に使われるので、水に対する気の遣い方や、作業手順が異なり、考えもなかった事を先輩から教えてもらいます。驚く事が沢山あり、いい経験になっています。



―世界一の大門松を作ったのは？

手上げ型交付金事業に初挑戦している地域づくり組織に「中筋地区自治振興会」があります。いくつか案が出され、採用されたのは「中筋地区を知らしめる事業」として、世界一の大門松作りに挑戦する事になりました。



昨年「2018年」にちなんで、20,18mの大門松を飾りました！

地域全体で総力を挙げ完成させた大門松。ライトアップイベントには大勢の方々に来ていただきました。微力ながらイベントにも神職として携われた事を誇りに思います。

来年もやります！皆さん是非見に来てください!!

《取材 湊 和樹》

無駄だと諦めないから「世界一」を生み出せたそうです！
愛媛県内には「日本一」「世界一」が沢山あります。

青年会御卒業

定時総会に於いて、会則により卒会の年を迎えられました先輩方をご紹介いたします。

- | | |
|-----------------|---------|
| 徳川神社 宮司(元理事) | 武智和剛様 |
| 愛媛縣護國神社 権宜(元理事) | 池田丈志様 |
| 一宮神社 権彌宜 | 矢野有紀様 |
| 石鎚神社 権彌宜 | 高岡健様 |
| 伊曾乃神社 権彌宜 | 越智愛様 |
| 大浜八幡大神社 権宜 | 檜垣陽暢様 |
| 大山八幡大神 権宜 | 河上秀史様 |
| 高縄神社 宮司 | 正岡重則様 |
| 五十鈴神社 権彌宜 | 川端さほ様 |
| 井手神社 権宜 | 横田朱美様 |
| 高家八幡神社 権彌宜 | 都子野真理子様 |
| 総社大明神社 権彌宜 | 白須あゆみ様 |

長年に亘り当会のご活躍にご尽力賜りまして誠に有り難うございました。会員一同感謝申し上げます。
今後も尚一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますと共に益々のご活躍をご祈念申し上げます。

新入会員紹介

- | | |
|--------------|-------|
| 矢矧神社 権彌宜 | 田窪 美保 |
| 多賀神社 権宜 | 中西 由大 |
| 伊豫豆比古命神社 権彌宜 | 鍛谷 僚 |
| 三島神社 権彌宜 | 阿部 玲子 |
| 一宮神社 権宜 | 葉師神 光 |
- 以上 新入会員です。

結婚報告

石鎚神社 権彌宜 勝本 貴大
美奈子

去る平成三十年二月十七日に、石鎚神社にて神前結婚式を執り行いました。



夫婦で力を合わせて明るく楽しい家庭を築いていきたいと思っております。今後とも御指導御鞭撻の程、宜しくお願ひ申し上げます。

八月六・七日

神道青年四国地区協議会
第二十四回定例総会並びに研修会

【場所】高松国際ホテル
【主題】「皇室と大嘗祭」
「悠久なる我が国の伝統とその継承」

【内容】「祭祀大権と神職」
國學院大學研究開発推進機構
研究開発推進センター協同研究員
河村忠伸先生

「江戸から明治の国学とは」
何であったのか、矢野玄道の話」
香川県神社庁 駐在教誨師
白鳥神社宮司
猪熊兼年先生

八月二十九・三十日

神道青年全国協議会 夏期セミナー
【場所】神社本庁
【主題】「転換期にたつ我ら」
「世論を喚起するために」

【内容】「平成の御代替わりと憲法改正運動」
神道政治連盟会長
小國神社宮司
打田文博先生

「国体、皇室、神社・国家・臣民の道」
神道政治連盟首席政策委員
田尾憲男先生

「次の御代替わりの諸儀について」
國學院大學名誉教授
大原康男先生

「日本らしい国づくりに向けて」
日本政策研究センター代表
伊藤哲夫先生

九月四日

神道青年四国地区協議会
第二十一回神道行法練成会

【場所】徳島県 日和佐八幡神社
【道彦】大麻比古神社 権彌宜
建島章生先生
日和佐八幡神社宮司
永本金二先生

【編集後記】表紙を見て気付かれた方がおられると思いますが、今年度第1回役員会で、柳原会長の発案によりまして、愛媛神青・会報名の生みの親でもあります、初代会長 和田将信 先輩の書『若竹』の題字へ25年振りに戻しました。